

ミレー《種をまく人》の「クローン文化財」を山梨県立美術館で展示公開  
～長崎知事プレスツアーに参加～

3月7日、山梨県立美術館にて、コレクション企画展「クローン文化財 ミレーの《種をまく人》」のプレスツアーが開催されました。同企画展では、東京藝術大学 COI 拠点文化共有研究グループ（テーマリーダー宮廻正明特任教授）が、山梨県立美術館が保有するミレーの《種をまく人》の超高精細画像データを活用して制作した「クローン文化財」をオリジナル作品と並べて展示します。さらに同企画展は、クローン文化財の技術開発にも焦点を当て、その制作工程も紹介します。



ミレーの《種をまく人》のクローン文化財を前に

右から深井隆 COI 特任教授、長崎幸太郎知事、澤和樹学長、青柳正規館長、三橋一弘 COI 特任教授、

プレスツアーには、長崎幸太郎山梨県知事も参加し、文化共有研究グループの深井隆特任教授による説明が行われました。同日、長崎知事、青柳山梨県立美術館館長、澤学長等による対談も行われ、クローン文化財をはじめ、芸術全般を活用した文化振興などについて前向きな意見が交わされました。

今回制作されたクローン文化財は、山梨県立美術館の要望を受け、今後様々な分野で永続的に活用することを目的に寄託する、国内の公立美術館として初の事例となります。



長崎知事ご案内の様子



クローン文化財制作工程の説明



クローン文化財を鑑賞される長崎知事

※企画展では触れることは出来ません。



オリジナル作品（左）とクローン文化財（右）

